| | | | |
|---|---|---|---|
| 科目名 | 比較文化論各論 | | |
| 曜日・講時 | 月曜3限 | | |
| セメスター | 5 | 単位数 | 2単位 |
| 担当教員 | ＴＩＮＫ　ＪＡＭＥＳ　ＭＩＣＨＡＥＬ | | |
| 科目ナンバリング | LHM-LIT338E | 使用言語 | 英語 |
| メディア授業科目 | | 主要授業科目 | ○ |
| 授業題目 | 異文化研究のキーワード（講義コース） | | |
| 授業の目的と概要 | 本講義は、人文科学におけるカルチュラル・スタディーズを横断する研究において重要な英語のキーワードを概観することで、異文化間研究のための基本的な概念やアプローチを紹介することを目的とする。 カルチュラル・スタディーズ」とは、文学部における知の形態や創造性の研究、日本研究とグローバル・スタディーズとの融合など、幅広いアプローチを意味する。毎週、関連する概念や対象、トピックを表す特定のキーワードを取り上げ、その意味合いや学部での研究への応用について考える。受講生は毎週、事前に何らかの短いテキスト（通常はコピーやオンライン資料、場合によっては文章だけでなく映像資料も）を読むことが求められ、授業ではそれを講義やグループディスカッションで説明する。トピックには、文化や文化史の考え方、芸術、メディア（特に映画）へのアプローチなどが含まれる | | |
| 学修の到達目標 | 1: 人文科学に役立つ英語の語彙を調査する。<br>2: 様々な短文や資料を英語で読む。<br>3: 英語の理解力とコミュニケーション能力を高める。<br>4: 授業内容やクラス活動を通して、異文化理解を深める。 | | |
| 授業内容・方法と進度予定 | 1: 文化入門： キーワードとは何か？<br><br>2: 文化と価値<br><br>3: 歴史主義<br><br>4: 祝祭とカーニバル<br><br>5: 近代とモダニズム<br><br>6: ポストモダニズム<br><br>7: 異文化間主義<br><br>8: 感情と情緒<br><br>9: 物語、小説、文学<br><br>10: 映画と国家 イギリス<br><br>11: 映画と国家 日本<br><br>12: ふるさととノスタルジア<br><br>13: 幽霊と怪奇<br><br>14: 日常性<br><br>15: 最終試験 | | |
| 成績評価方法 | 授業後、短いリアクションペーパーをグーグルクラスルームに提出 40%、<br>学期末に最終タームペーパー1回 30%、<br>期末テスト 30% | | |
| 教科書および参考書 | 教科書なし<br>オンラインまたはコピーで提供される資料。 | | |
| 授業時間外学修 | 聴解力、読解力、視覚的コミュニケーション能力、口頭コミュニケーション能力の向上。<br>異文化理解 | | |
| 実務・実践的授業 | | | |
| その他 | | | |

１単位の授業科目は、４５時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。１単位の修得に必要となる学修時間の目安は、「講義・演習」については１５～３０時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）３０～１５時間、「実験、実習及び実技」については３０～４５時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）１５～０時間です。